

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察特殊報について（送付）
このことについて、発生予察特殊報第5号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和2年度（2020年度）発生予察特殊報第5号
令和2年（2020年）12月11日
熊本県病虫害防除所長

- 1 病虫害名 フタテンミドリヒメヨコバイ（ヨコバイ科）
- 2 学 名 *Amrasca biguttula* (Ishida, 1913)
- 3 発生作物 オクラ（アオイ科）
- 4 発生確認の経過
令和2年（2020年）9月、県内のオクラほ場で葉が黄化・萎縮する症状が確認され、被害葉上にて翅末端に一对の黒点があるヨコバイが確認された。ほ場から虫体を採集し農林水産省門司植物防疫所に同定を依頼した結果、県内での発生が未確認であったフタテンミドリヒメヨコバイであることが判明した。
- 5 国内の発生状況
沖縄県のオクラで発生が確認されているほか、平成17年（2005年）に東京都のハイビスカス、オクラ、ナスでの発生が報告されている。
- 6 形態及び生態の特徴
 - (1) 形態
ア 成虫は体長2.7～3.2mm。複眼は白色、頭胸部は黄緑色、上翅は半透明白色で翅の末端に一对の黒点がある（図1）。
イ 終齢幼虫は体長2.4～3.2mm。全身がほぼ黄緑色で複眼は白色。第5腹節から翅の原基が出ている。翅の原基にも一对の黒点がある（図2）。
 - (2) 生態
雌成虫は黄白色の卵を葉脈に一度に15卵ほど産卵する。卵は孵化直前には灰色がかった黄色になる。卵は4～11日で孵化し、幼虫期間は7～21日、成虫の寿命は35～50日である。
 - (3) 被害
幼虫・成虫とも新葉や茎から吸汁する。葉の黄化・萎縮・奇形を呈し、成長が抑制される（図3）。

7 防除対策

- (1) 定期的に葉裏を観察し早期発見に努め、発見したら登録薬剤を散布する。
- (2) 収穫残渣は発生源となるため、収穫後は早期に片付ける。



図1 フタテンミドリヒメヨコバイの成虫



図2 フタテンミドリヒメヨコバイの終齢幼虫



図3 黄化・萎縮したオクラの被害葉

問い合わせ先
熊本県病虫害防除所
農業研究センター 生産環境研究所
病虫害研究室 予察指導係 担当：丹、中村
TEL：096-248-6490